



技と力の闘い

2月18日に追高体育館で第17回近隣市町親善少年柔道大会が開催され180名が参加しました。札幌や白老からのエントリーもあり、小学生は学年ごとに男女別、小学生以下の幼児の部では男女混合での対戦でした。

果敢に攻めてポイントを重ねたり、寝技で一本勝ちするなど得意技で勝ち上がり投げ技が決まった瞬間、観衆から「うおー！」というどよめきと大きな拍手が起こりました。

安平町では野田佑奈さん(追小5年生)と飯濱大助君(同1年生)がそれぞれの部で優勝しました。

幼稚園で恒例の豆まき

「鬼は外 福は内!!」という元気な声とともに、2月2日追分幼稚園で毎年実施している豆まきが行なわれました。節分には一日早く行なわれましたが、年長と年少の組の園児が交互にお面をつけて鬼の役を演じ、豆を投げつけられながら逃げ回っていました。会場には、保護者も見にきてカメラやビデオ撮影をし、わが子の安全と無病息災を願っていました。園児たちは楽しそうに日本の伝統行事に参加していました。



急きょお婿さんを募集することになりました

自宅で飼っているエミューという大型の鳥が卵を産んでいたのを2月23日に武田忠雄さん(追分美園)が発見しました。

雌雄の判別が難しくオスだと思っていたのでびっくり。ただ今、婿殿を募集しているとのこと。 (黒く見えるのがエミューの卵。白色は鶏卵)



優しい音色に包まれた人形劇

人形劇フェスティバル2007年さっぽろ冬の祭典 in 安平町が2月18日、早来町民センターで開催され「セロ弾きのゴーシュ」が上演されました。

主人公のゴーシュが猫やカッコウなどの動物たちとのふれあいで次第に成長していく物語。上演中には、チェロの音色が会場を優しく包んでいました。

また、上演に先立ち町内の子どもたちによる手作りの人形によるミニ人形劇も上演されました。



日ごろの成果を発表

2月18日、遠浅保育園生活発表会が同保育園で開催され、リズムやうた、劇など日ごろの練習の成果を発表し、会場から大きな拍手が贈られていました。

